



World Association  
of Girl Guides  
and Girl Scouts

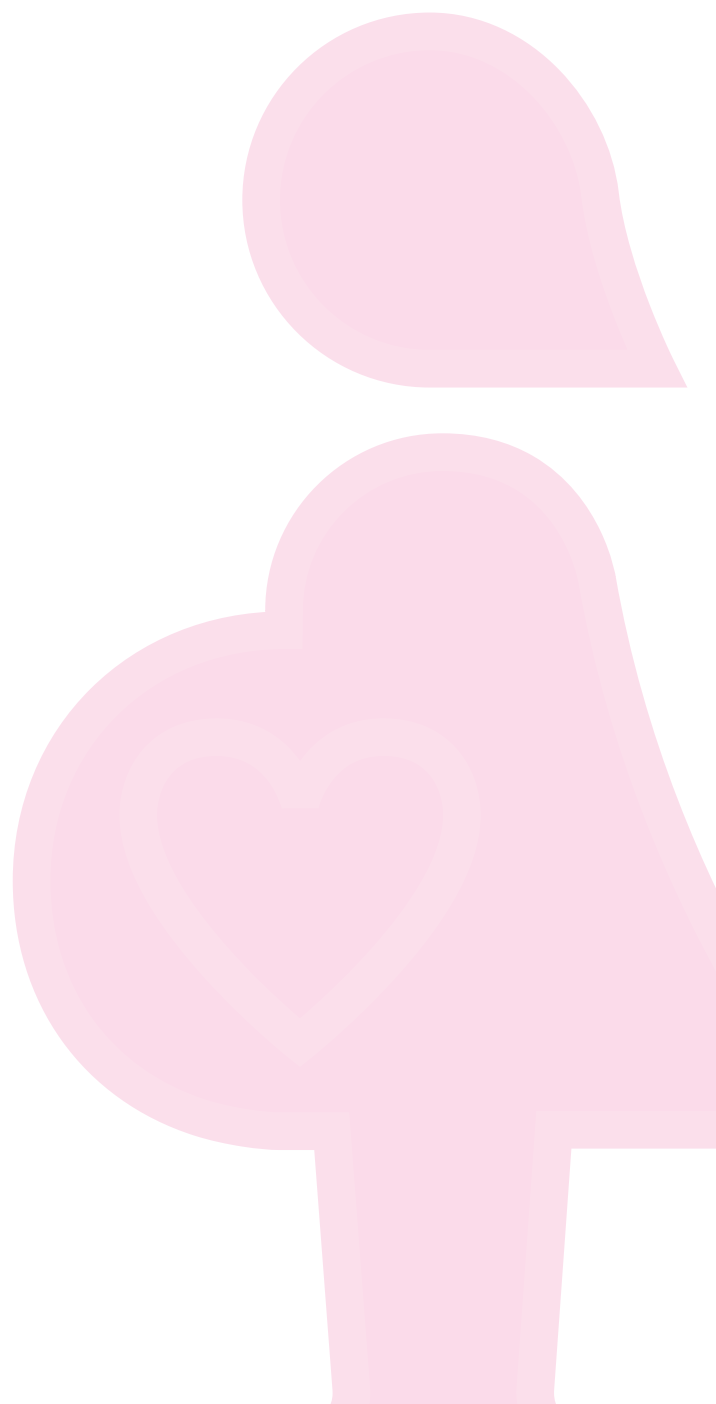
Association mondiale  
des Guides et des  
Eclaireuses

Asociación  
Mundial de las  
Guías Scouts

ワールドシンキングデイ2013 活動パック

# World Thinking Day MDG5 Activity Pack

# 2013



“すべての母親の命と健康は尊い”



[www.worldthinkingday.org](http://www.worldthinkingday.org)





## 目 次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1.はじめに.....                   | 02 |
| 2.ミレニアム開発目標 5 (MDG5)について..... | 06 |
| 3.焦点国 .....                   | 10 |
| アイルランド (ヨーロッパ地域) .....        | 13 |
| ヨルダン・ハシェミット王国(アラブ地域)...       | 14 |
| マラウィ共和国 (アフリカ地域).....         | 14 |
| パキスタンイスラム共和国(アジア太平洋地域)        | 15 |
| ベネズエラ・ボリバル共和国(西半球地域)          | 15 |
| 4.アクティビティ .....               | 17 |
| 出典 .....                      | 29 |



## 1.はじめに

世界中のガールガイド・ガールスカウトが1926年からワールドシンキングデイをお祝いしています。ワールドシンキングデイは2月22日ですが、年間を通じてのテーマに取り組みます。ワールドシンキングデイはガールガイド・ガールスカウトにとって次のことを知るチャンスです。

- ガールスカウトの活動で知り合った世界中の友達との国際的友情に感謝する
- 世界中のより多くの少女や若い女性と共に、ガールスカウト運動を展開するために、募金活動をする
- 私たちの世界に影響を及ぼしている問題に対し、一緒に行動を起こす



“together we can  
change our world”







## ワールドシンキングデイの歴史

毎年2月22日に、世界中のガールガイド・ガールスカウトはワールドシンキングデイをお祝いします。ワールドシンキングデイは1926年、アメリカ連盟のエディス・メイシーキャンプ場（現在はエディス・メイシー会議センターと呼ばれています。）で開催された第4回国際会議で制定されました。会議参加者は、「世界中のガールガイド・ガールスカウトが互いに思い合い、感謝し合い、そして私たちの運動の中で見出した国際的な友情の価値をあらためて実感する特別な日にすべきである」と賛同しました。

代表者たちは、ボーイスカウト運動の創始者であるベーデン・ポウエル卿と、その妻であり、ワールドチーフガイドを務めたオレブの誕生日である2月22日をワールドシンキングデイに選びました。

ポーランドで開催された1932年の第7回世界会議で、ある代表団が「誕生日には昔から贈り物をするものだ」として、「少女たちがワールドシンキングデイに感謝の気持ちと友情を確認し、互いの幸せを祈るだけでなく、他国のガールガイド・ガールスカウト活動を支援するための世界連盟への自発的な寄付をしてはどうか」と提案しました。

オレブはすべてのガールガイドとガールスカウトに1ペニーを寄付することを依頼する手紙を書き、それによりワールドシンキングデイファンドが作られました。それ以降、一年中いつでもあなたが集め、送った募金は、WAGGGSのワールドシンキングデイファンドとして世界中のガールガイド・ガールスカウト運動の発展を支えています。ワールドシンキングデイファンドはノンフォーマル教育プログラムの提供、加盟連盟のプロジェクト支援、若い女性のリーダーシップとアドボカシースキルの向上、また世界中のより多くの少女や若い女性と共にこの運動を分かち合い、成長するための支援をしています。

2009年より、ワールドシンキングデイはミレニアム開発目標(MDGs)をテーマとしています。MDGsに焦点を当てることでテーマの認識を高め、ガールガイド・ガールスカウトたちが世界を変えるためにひとりひとりが取り組むことを進めています。それぞれのワールドシンキングデイのテーマは年間を通してのものとして、ガールガイド・ガールスカウトは、それぞれのテーマに関する教育的アクティビティに取り組むことができます。



### 2009 MDG 6

HIV/エイズ、マalaria、その他の疾病の蔓延防止



### 2010 MDG 1

極度の貧困と飢餓の撲滅



### 2011 MDG 3

ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上



### 2012 MDG 7

環境の持続可能性の確保



### 2013 MDG 4 + MDG 5

乳幼児死亡率の削減  
妊産婦の健康の改善



### 2014 MDG 2

普遍的初等教育の達成



### 2015 MDG 8

開発のためのグローバルパートナーシップ



## ワールドシンキングデイ2013 テーマ:



### MDG4 乳幼児死亡率の削減

“一緒になら、  
子どもたちの命を救える”



### MDG5 妊産婦の健康の改善

“すべての母親の命と健康は尊い”

## 2つのMDGsと2つの活動パック



女性とその子どもたちの命は関連しているものなので、今年のワールドシンキングデイはMDG4とMDG5の2つに焦点を当てています。健康な母親は元気な赤ちゃんを産む可能性が高く、医療サービスを利用できなかったり、不十分だったりすると、母子共に死亡したり外傷を受ける危険性が高くなります。母親が亡くなった場合、その子どもが早死にする可能性は母親がいる子どもと比べて10倍高くなります<sup>1</sup>。

皆さんがMDG4とMDG5について学び、行動を起こせるように2つの活動パックを作成しました。MDG4の活動パックは「乳幼児死亡率の削減」に、そしてMDG5の活動パックは「妊産婦の健康の改善」に焦点を当てています。

2013年ワールドシンキングデイピンはすでに購入しましたか？

日本連盟では世界連盟のワールドシンキングデイ2013のロゴをピンにして、頒布しています。皆さん、ワールドシンキングデイピンをつけて、この活動パックに取り組みましょう。

このアクティビティパックには、世界中の妊産婦の健康に影響を与える問題や、妊産婦の死亡の根本的原因、そして、あなた自身の人生や、地域、国、世界に変化をもたらす方法を学ぶのに役立つアクティビティが載っています。また、MDGsやワールドシンキングデイ、そして他の国のガールガイド・ガールスカウト運動が行っている取り組みについても知ることができます。



## ? 知っていますか？

毎年、全世界で760万人の子ども<sup>2</sup>と28万7千人の母親<sup>3</sup>が亡くなっています。この状況は変えることができ、変えなくてはなりません。

・私たちは子どもや妊産婦の死亡原因のほとんどの予防方法や治療方法を知っています。

妊娠、出産、生後一週間の健康管理によって、妊産婦や新生児の死亡（児童死亡の40%以上の割合を占める）のほとんどを予防できます<sup>2</sup>。下痢、肺炎、そしてマラリアは生後数ヶ月の子どもの死亡の主な原因です<sup>2</sup>。女性と子どもたちは、治療方法が分からない病気が原因で亡くなっているのではなく、治療を受ける方法がないことが原因で亡くなっているのです。

・死亡原因の根本的な原因は日常生活の状態にあります。

もしも世界にいるすべての女性が教育を受けられ、すべての家族が十分な収入を得ることができ、そしてみんながきれいな水、十分な食料、きちんとした家、良い衛生状態、予防接種、健康管理ができれば、子どもや女性の大部分の命が助かります。これらは単に生活に必要なものというだけでなく、人間の権利そのものです。

・子どもと妊産婦の健康は私たちの地域、国、そして世界がうまく機能しているかを示すバロメーターです。

子どもや妊産婦の死亡は、不平等な道筋が世界に存在していることを示しています。富裕国の女性と子どもは出産時に、下痢や肺炎、マラリアで亡くなることはほとんどありません。子どもや妊産婦の死亡の大部分は途上国で起こります。しかし、子どもと妊産婦の死亡-背後に関係する不平等-は途上国だけの問題ではありません。先進国、発展途上国どちらにおいても、同じ国内で一部の子どもの女性、他の人々に比べ亡くなる可能性が高いのです。農村地域の生活や貧困家庭の出身、差別を受けている集団に属していることすべてが女性や子どもが病気になったり、死亡する可能性を高めます。

・子どもや妊産婦の健康を改善することは社会にとっていいことです。

子どもや妊産婦の健康のために投資することは、総じて家族や社会の生産性や繁栄を高めます。それは女性や子どもが自分たちの権利を持って生活し、かつ彼らの能力を最大限に発揮することを可能にします。



健康である人は希望があり、  
希望がある人はあらゆる可能性を持っている。  
—アラブのことわざ





## 2. ミレニアム開発目標5 (MDG5) について



### “すべての母親の命と健康は尊い”

#### MDG5は母親の健康の改善に焦点をあてています。

妊産婦の健康とは、妊娠、出産、産後の時期の女性の健康のことをいいます。

母親になることは大抵の場合、有意義な、そして充実した経験になりますが、苦痛や健康障害、死亡さえ伴うものとなる女性があまりにもたくさんいます。妊産婦の健康を改善することは、女性が身体的・精神的な健康を気遣ったり、持病の治療を支援する情報やサービスをきちんと利用できるようにすることが含まれます。

女性が母親になろうとするずっと前に、母体の健康の種は蒔かれます。身体的・精神的に良い健康状態で、また、自信、自尊心、人間関係や親であることについて健康的な選択をするのに必要な知識とスキルがあると、女性は高い確率で健康的な妊娠をすることができます。将来、母親になるならに問わず、可能な限り健康的であることはすべての少女や女性に重要なことです。

妊産婦の健康は世界中の国々にとっての課題です。世界的統計は国際社会としてどのような動きをしているかを示しています。これらは各国の違いを知りえるものではありません。ワールドシンキングデイに取り組むことで、自国における妊産婦の健康について学ぶ機会となります。このような情報を参考にしながら、あなたの地域における女性の健康を守るために自分たちができることについて考え、行動しましょう。

#### 国際社会は何を達成しようとしているのでしょうか？

**ターゲット5.A-** 2015年までに妊産婦の死亡率を1990年の水準の4分の1に削減する。

**ターゲット5.B-** 2015年までにリプロダクティブ・ヘルスへの普遍的アクセスを実現する。

#### 国際社会は目標を達成するために前進しているかをどのように知るのでしょうか？ MDG5の進捗を測定する指標

**5.1 妊産婦死亡率**（赤ちゃん10万人毎に対して、妊娠時期、出産時期、妊娠後の6ヶ月間に、毎年どのくらいの母親が命を落とすか？）

**5.2 医師・助産婦の立ち会いによる出産の割合**（どのくらいの確率で出産に医師や看護師、助産婦が付き添っているか？）

**5.3 避妊具普及率**（どのくらいの確率で結婚をしている女性またはカップルが最新の避妊方法を利用しているか？）

**5.4 青年前期女子による出産率**（15歳から19歳の1,000人の少女毎に対して毎年どのくらいの少女が出産するか？）

**5.5 産前ケアの機会** – 検診を1回受けるか、また4回受けるか。（妊娠中に妊婦の女性が、医師、看護師、または助産婦の検診を1回受ける割合は何パーセントか？また4回検診を受ける割合は何パーセントか？）

**5.6 家族計画の必要性が理解されていない割合**（結婚しているまたはカップルの女性のうち、妊娠を望まないが最新の避妊方法を使用していない確率は？）

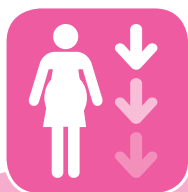


## これらの目標は達成できるのか？

MDGの達成期限はもう間もなくです。

私たちはMDG5を達成する方向に向かっているのでしょうか？

妊産婦の死亡が減っている



より多くの女性が必要な医療サービスを受けている



世界の貧困国のいくつかはMDG5の達成に向けて著しい発展を遂げている



2015年までに目標を達成するのに、進展の速さは十分ではない



妊産婦の不健康と死亡は私たちの世界と社会の不平等を反映している



妊産婦の不健康と死亡の背景に潜む不平等は開発途上国のみの問題ではない





2010年におおよそ28万7千人の妊産婦が死亡している。これは1990年と比べて、47%少ない<sup>5</sup>。

1990年に比べて2009年にはより多くの妊婦<sup>5</sup>が医療サービスを受けた。少なくとも51%の人が4回産前ケアを受けた。これも1990年の35%より増加している。65%の人は医療従事者に付き添われて出産している。これも1990年の55%より増加している<sup>5</sup>。

2010年に、妊産婦死亡率が高かった10カ国が妊産婦の死亡を75%減らす<sup>5</sup>目標をすでに上回り、更に9カ国はこの目標を達成に向けて順調に進んでいる<sup>5</sup>。

2010年時点で、14カ国が妊産婦の死亡率を減少させるために十分な進展がなされていない。また11カ国ではまったく進展しておらず、もし急速に変えていかなければ、目標を達成できない可能性が高い<sup>5</sup>。青年前期の出産率の低下については多少の進展がみられた。15歳から19歳の1,000人の少女のうち、1990年は約60人が出産したのに比べて、2009年には50.5人であった<sup>6</sup>。

発展途上国の女性は先進国の女性と比べて、妊娠が原因で死亡する可能性が15倍である<sup>5</sup>。イギリスでは低所得層の家庭の思春期の少女が母親になる可能性は、高所得層の家庭の少女と比べて10倍である<sup>7</sup>。

先進工業国でさえ、貧困や差別に直面している女性は妊娠に関係する原因で死亡する可能性が高い。アメリカ合衆国の女性は先進工業国の中で妊産婦死亡の危険性が最も高い。アメリカの女性は、イタリアまたはアイルランドの女性より妊娠に関係のある原因で死亡する可能性が7倍高い<sup>8</sup>。

## 妊産婦の健康はなぜどこでも問題になるか?<sup>1,2</sup>

多くの人が妊産婦の死亡は先進国の問題だと考えていませんが、先進国にも可能性があります。いくつかの国は他国と比べて女性が妊娠に関係のある原因で死亡する可能性が高く、同じ国内でさえも、貧しかったり、差別を受けていたりする女性は死亡する可能性が高いのです。

ほとんどの場合、先進国の妊産婦の死亡は、医療サービスや医療従事者の不足が原因ではありません。問題なのは、世界のさまざまな場所で多くの女性が安全な妊娠、出産のために必要な検診などの医療サービスを受けられないことにあります。これにはさまざまな理由があります。ある国では自分の健康管理についてはすべて自費で対応することとなり、民間の健康保険に加入することが必要になります。すべての人がこの費用を支払えるわけではなく、既往歴によって保険に加入できない場合もあるのです。

女性が必要な医療サービスを受けるのを阻むものは費用だけではなく、彼らは医療従事者と同じ言語を話すことができなかつたり、仕事を休んで医療サービスを受けることが難しかったり、もう一人の子どものためのベビーシッターを探したり、医療サービスを受けるために長距離の移動が必要だったりします。妊産婦の健康は国がいかに裕福かということ以上のものを示しています。政府の政策や社会の平等さが大きく影響しています。



**乳幼児死亡もまたいくつかの先進国でも問題です。MDG4の活動パックで確認しましょう。**







### 3. 焦点国

ガールスカウト運動が国際的であることを祝うのはワールドシンキングデイの大事なポイントです。これは他の国の少女や若い女性の生活について学び、世界中のガールガイド・ガールスカウトの似ているところや違いを知る、よい機会となります。

2010年から毎年、ワールドシンキングデイでは5つの地域から1カ国ずつ、全部で5カ国に焦点をあてています。中には焦点国以外の国について、その国の少女や若い女性の生活について調べる人もいますし、それら5つの国について調べる人もいます。また、焦点国におけるワールドシンキングデイのテーマについてもっと深く調べることを選ぶかもしれません。

今年焦点をあてる国は・・・

- ・アイルランド（ヨーロッパ地域）
- ・ヨルダン・ハシェミット王国（アラブ地域）
- ・マラウィ共和国（アフリカ地域）
- ・パキスタン・イスラム共和国（アジア太平洋地域）
- ・ベネズエラ・ボリバル共和国（西半球地域）

ここではこれら5つの国の妊産婦の健康や命について簡単に紹介しています。MDG5の達成に向けて最も厳しい状況にあるのはアフリカやアジア太平洋地域ですが、妊産婦の健康と命は世界的問題であり、互いに学びあうことができると分かるでしょう。焦点国のガールガイド・ガールスカウトが子どもや妊産婦の健康を改善するために地域や国に働きかけていることについてもっと知るためには、[www.worldthinkingday.org](http://www.worldthinkingday.org)（英語）をご覧ください。

#### 忘れないで・・・

ワールドシンキングデイファンドのために集めたお金は世界中でガールガイド・ガールスカウト運動を発展させ続けるためと、焦点国でMDG4とMDG5のプロジェクトを支援するためにも使われます。



MDG4活動パックで、焦点国の子どもの健康や命の状況について知りましょう





## アイルランド

WAGGGS地域:  
ヨーロッパ地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり:1911年

会員数:16,677人

人間開発指数ランキング<sup>11</sup>:  
187カ国中7位

WAGGGS加盟連盟:  
ガールガイドアイルランド連盟  
(アイルランド・カトリックガイド連盟  
とガールガイドアイルランド連盟か  
ら成る)

## ベネズエラ ・ボリバル共和国

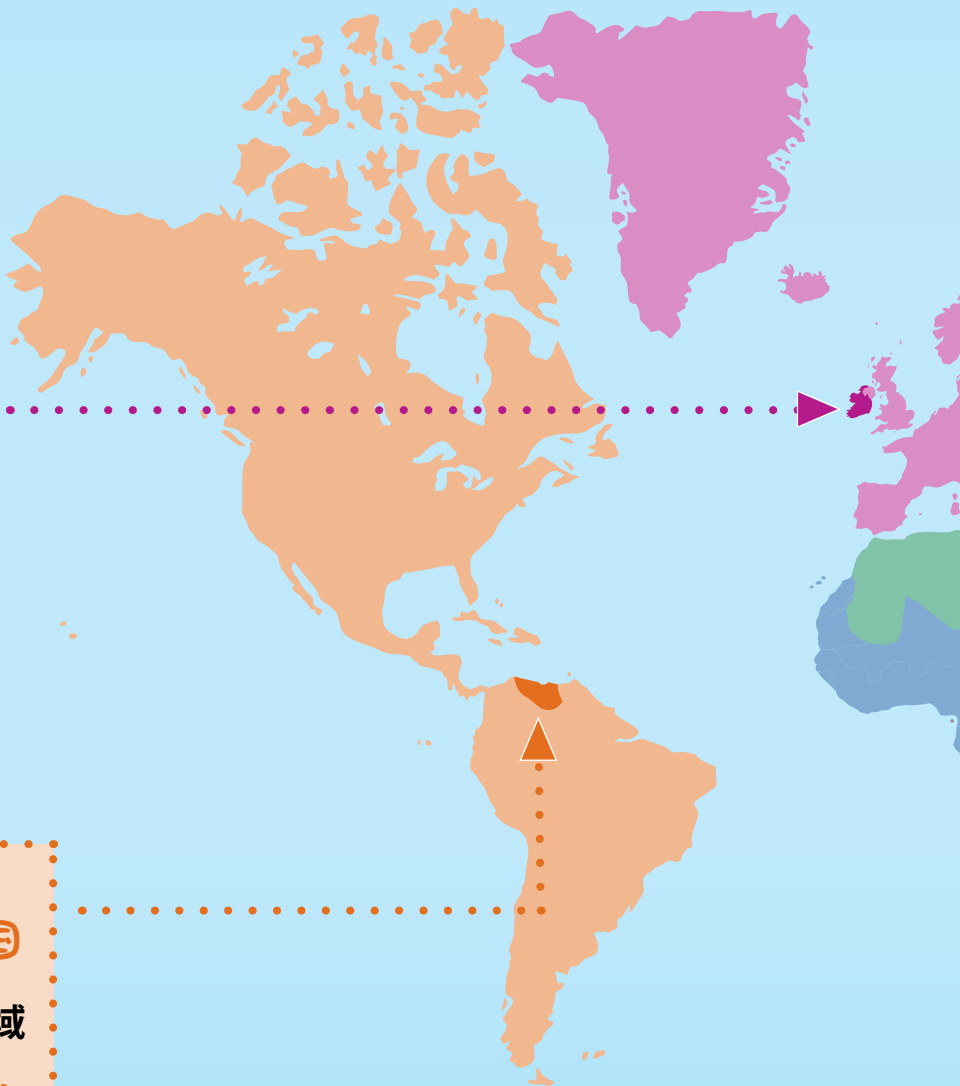
WAGGGS地域:西半球地域

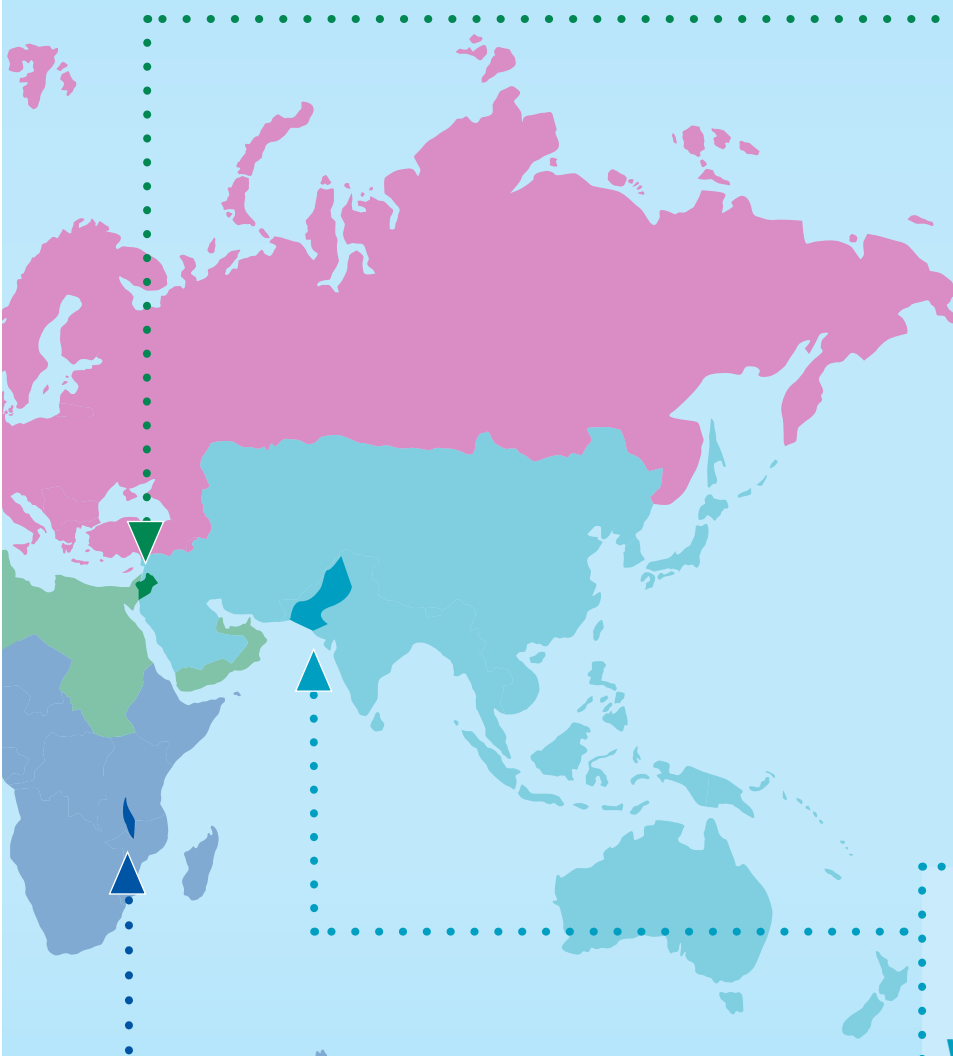
ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり:1958年

会員数:480人

人間開発指数ランキング<sup>11</sup>:  
187カ国中73位

WAGGGS加盟連盟:  
ガールスカウトベネズエラ  
連盟





## ヨルダン ・ハシェミット王国

WAGGGS地域: アラブ地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり: 1938年

会員数: 9,080人

人間開発指数ランキング<sup>11</sup>: 187カ国中95位

WAGGGS加盟連盟: ボーイスカウト・ガールガイドヨルダン連盟

## マラウィ共和国

WAGGGS地域: アフリカ地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり: 1927年

会員数: 54,156人

人間開発指数ランキング<sup>11</sup>: 187カ国中171位

WAGGGS加盟連盟: ガールガイドマラウィ連盟

## パキスタン ・イスラム共和国

WAGGGS地域: アジア太平洋地域

ガールガイド・ガールスカウト活動のはじまり: 1911年  
(WAGGGSの創立時メンバー)

会員数: 117,692人

人間開発指数ランキング<sup>11</sup>: 187カ国中145位

WAGGGS加盟所属連盟: ガールガイドパキスタン連盟



“女性と子どもは開発において重要な役割を担っています。  
彼女らの健康への投資とは、そのことのためだけではなく、  
安定し、平和で生産性の高い社会を築くことになるのです。

“パン・ギムン国連事務総長”

## アイルランド

### MDG4と5に関するプロジェクト

アイルランド連盟はもっと資金支援を必要としている  
焦点国に資金が届くようワールドシンキングデー  
ファンドからの助成金を受け取らない選択をしました。  
アイルランド連盟の会員はMDG4や5に関する  
たくさんのプロジェクトに関わっています。アイルラ  
ンドのガールガイドは「一緒に」「私たちならできる」  
「変えよう」「私たちの世界」という4つのキーワード



の下、MDGsに基づいた国際キャンプを行いました。  
この1週間のキャンプの間、参加者は自分たちの  
住む地域や地域以外にも自分たちが起こせるよい  
変化について学びました。アイルランドのガールガ  
イドはMDGsについてより詳しく学んでいる会  
員に役立つグローバルアクションテーマ・  
パックのオリジナル版を製作するために、国際NGO  
のプラン・アイルランドの協力を得ました。彼らは現  
在行っているプログラムがいくつかの健康問題を  
解決するには十分ではないことに気付きました。そ  
の結果、健康促進パックを更新し、10代のグループ  
が健康について話し合うようリーダーに提供しまし  
た。アイルランド・カトリックガイド(CGI)は2012年  
にミレニアム開発目標に関する全国芸術コンテスト  
を開催しました。ワークショップやゲームを通じて、  
少女たちはそれぞれの目標について学び、最終的  
に芸術作品を一緒に作成しました。芸術作品には、  
乳幼児死亡率を減少するために行動を起こすよう  
人々に勇気を与える短編映画や、HIV／エイズへの  
偏見に立ち向かうポスターが含まれていました。す  
べての作品はダブリン市センターで行われた芸術  
展示会やアイルランド・カトリックガイド連盟本部で  
も展示されました。





## ヨルダン・ハシェミット王国

### 2013年ワールドシンキングデイプロジェクト

ヨルダンには妊産婦の健康と乳児死亡に影響するたくさんの要因があります。これには喫煙や栄養などの健康に関する選択だけでなく、早婚や暴力などの社会的問題が含まれます。ボーイスカウト・ガールガイドヨルダン連盟は母親やその子どもの健康や命を守るための実践や、健康的な生活を促進するキャンペーンを行うために、シンキングデイファンドからの助成金を利用します。30人の女性が地域内でガールガイドが意識向上のために役立つ方法をワークショップで学びます。シニア部門の100人のガールガイドは、変化を起こすためのキャンペーンやピア・エデュケーションの利用方法を学びます。ポスターやパンフレットのようなキャンペーン資料を作るためにも助成金が役立てられます。



## マラウィ共和国

### 2013年ワールドシンキングデイプロジェクト



マラウィは最も難しい問題をいくつか抱えている国です。マラウィのガールガイドは安全で幸せな子ども時代の夢を実現させるための手助けをすることを決意しました。しかし、学校に行くことができない、早婚、若年出産、高い非識字率など、思春期のマラウィの女の子は健康や幸福に対してたくさんの問題を抱えています。マラウィのガールガイドは思春期の妊娠を減らすためにワールドシンキングデイファンドの助成金を利用します。このプロジェクトではガールガイドのリーダーやパトロールリーダーをピア・エデュケーター（同年代の仲間による教育）としてトレーニングします。ピア・エデュケーターたちは地域キャンペーンを通じて750人の女子学生や1,500人の女の子、600人の成人に対して、MDGsの認知度、特にMDG4と5の認知度を上げます。





## パキスタン・イスラム共和国

### 2013年ワールドシンキングデイプロジェクト

パキスタンでは20分ごとに1人の女性が亡くなっています。妊娠や出産中の合併症は5人に1人の確率で青年前期の少女や女性（12～49歳）が死亡する主な原因です。パキスタン連盟は北西部の5つの地域で500世帯が妊産婦の健康と乳幼児の死亡について学ぶよう支援するべく、健康の専門家と共に活動するため、ワールドシンキングデイファンドを利用します。ガールガイドは地域のアドボカシーキャンペーンやイベントを通じて認知度を上げます。地域の少女や若い女性がこれらの重要な課題について継続的に学べるように、ガールガイドのオープン集会への参加を促します。

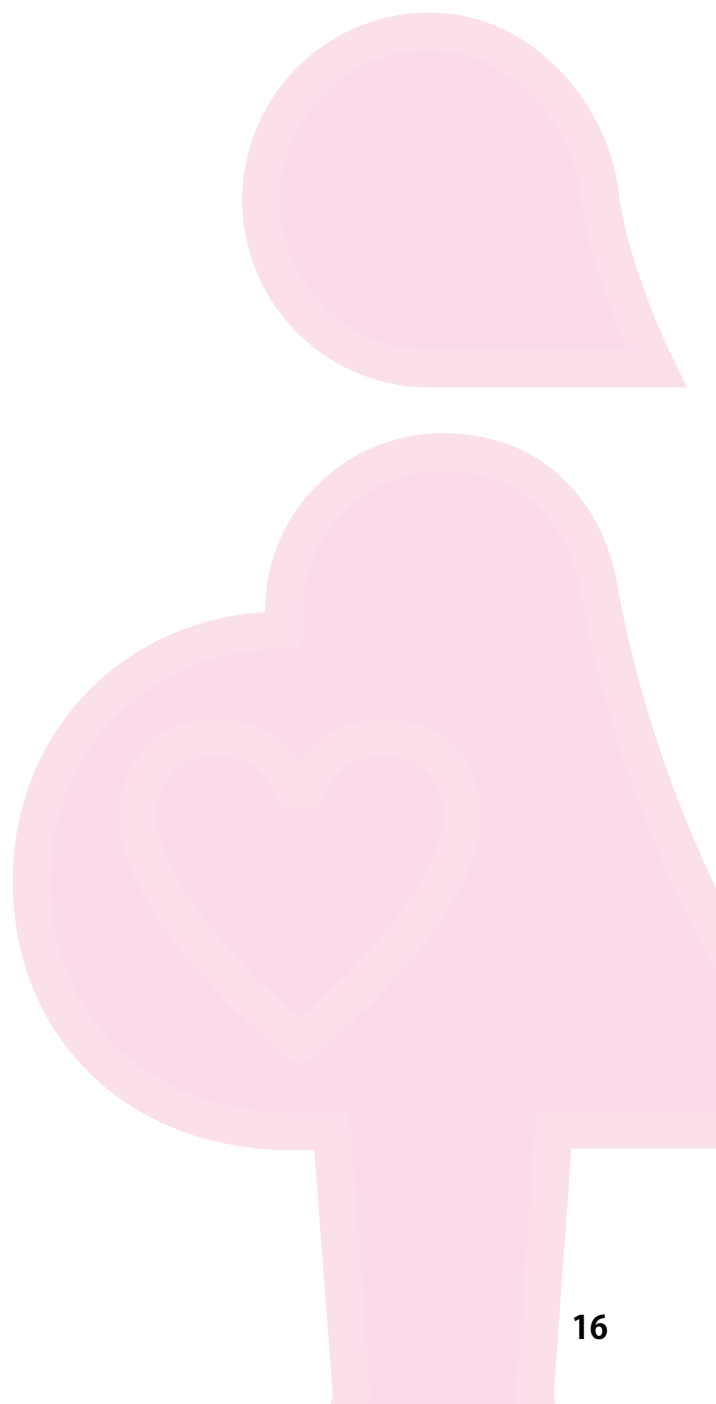


## ベネズエラ・ボリバル共和国

### 2013年ワールドシンキングデイプロジェクト

ベネズエラでは適切な医療サービスを利用できないといった防ぐことができる原因によって高い妊産婦死亡数が存在します。ベネズエラ連盟は健康と責任ある関係についてより多くの若い女性を教育するためにワールドシンキングデイファンドの助成金を利用します。連盟では70人の少女と若い女性の会員が、全国の530人の学生に青年前期の妊娠やその危険性について教育します。そして参加した少女や若い女性には、得た情報を活かし、今後の活動に多くの若者が参加するよう呼びかけることを促します。







## 4. アクティビティ

### 全体図

#### MDG5の導入と調べるためのアクティビティ

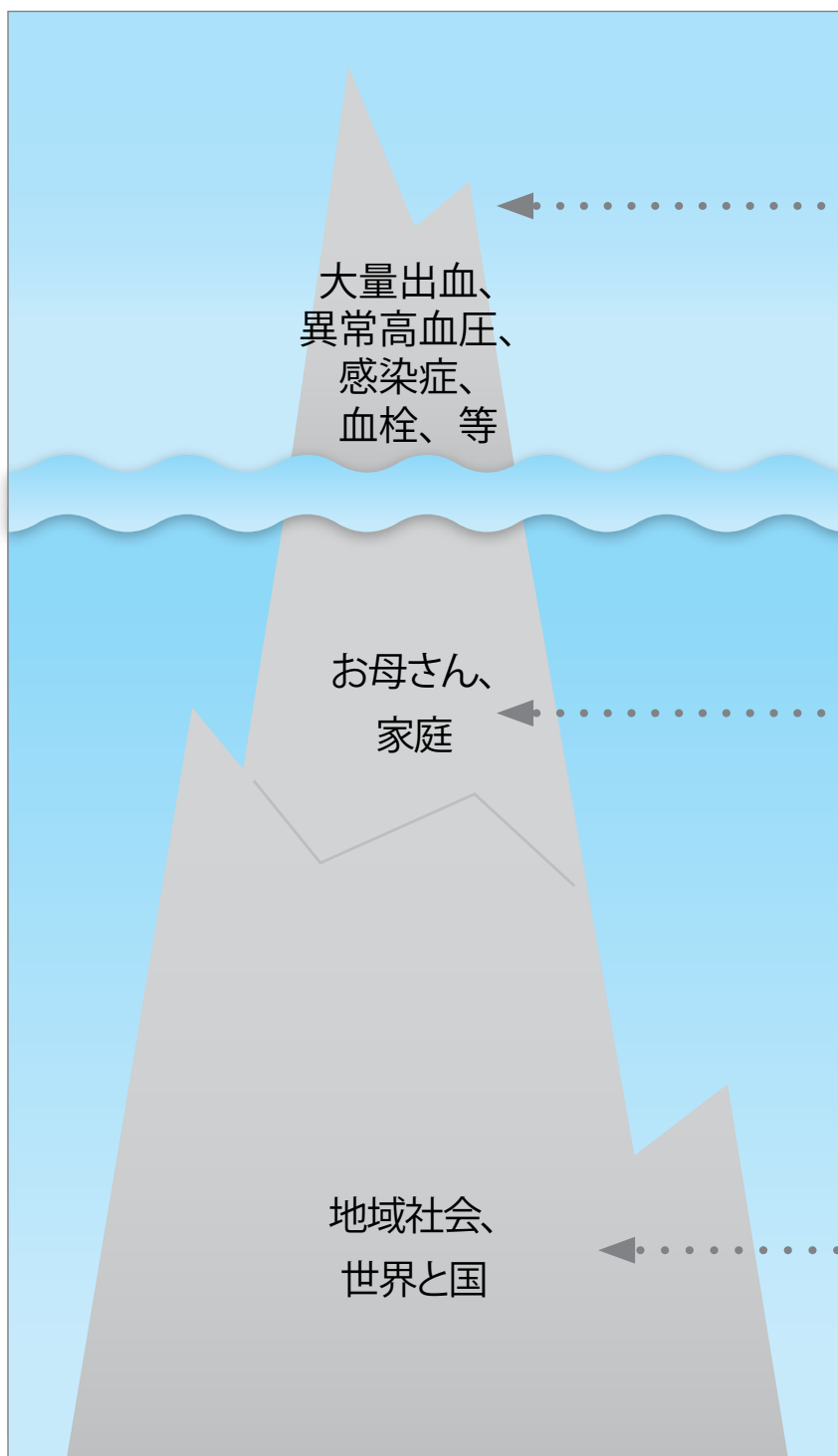
### 平等な社会：健康を向上させるための方法

すべての女性が同じように安全な妊娠、出産、そして産後の時期を過ごせるわけではありません。世界の国々には貧しい家庭や差別されている集団に属した女性が、妊娠が原因で亡くなったり、傷ついたりする可能性が高いです。世界レベルで見ても：途上国の女性は先進国の女性に比べて、傷つけられたり、亡くなったりする可能性が高いです。

このような格差は、生物学的理由によって起きているわけではありません。これらは女性たちが日常生活を営む条件下における、避けられるはずの不公平な違いによって起きるのです。

**この差を縮めるためには、女性の生活状況を改善するための行動を起こさなければなりません。**

右図は、女性が安全で健康的な妊娠・出産・産後を過ごすためにどのような支援がよいかを理解するのに役立つでしょう。妊産婦の死亡の直接原因が氷山のとっぺんのように簡単にわかります。しかしこれは問題のほんの一部に過ぎません。出生時の合併症の理由にはたくさんの理由が層になって重なり合っています。それは女性の置かれている環境 - 彼女の家族 - に始まり、彼女の地域や世界へと広がります。私たちが知っている「死亡する」と「傷を負う」との間にある差は、女性たちがこれらの原因になる事柄に対し、対応する環境にあるかどうかの格差が反映されているのです。





## 妊産婦の 死亡原因は 何か？<sup>12</sup>

- ・大量出血-35%
- ・異常高血圧-18%
- ・感染症-8%
- ・静脈を閉塞させる血栓-1%
- ・他の直接原因-11%
- ・間接的な原因-18%

## 出産時合併症 に影響を与える 直接的な原因 は何か？

### 母親

- ・年齢
- ・栄養と健康状態
- ・出産の間隔
- ・教育レベル
- ・育児や家計に関する決定に関わること
- ・安全な妊娠・出産のための医療サービスの利用

### 家庭

- ・収入
- ・男女の役割、母親としての責任、父親としての責任、考え方

## これらの状態 に影響する、 より幅広い要因 は何でしょう？

### 地域社会と国

- ・健全な生活水準、教育、子どもと女性の権利を守り、向上に努め、健康の促進・病気への対応、清潔な環境、安全な水、公衆衛生の改善を保障する政府の政策とシステム
- ・宗教的、文化的、社会的信条や習慣
- ・少女と少年、女性と男性の社会的地位や権利の平等の度合い

- ・過去、現在の差別と社会的疎外
- ・紛争と国家の虚弱

### 世界

- ・人権、政府開発援助、国際貿易、また他の世界的問題に影響を与える世界的政策やシステム
- ・気候変動





## MDGのウェビング



8つのMDGsはすべて子どもの健康や命に関わる問題に繋がっています。

みなさんで円になってそれぞれ一人ひとりが異なるMDGの担当となってください。(8人以上いる場合は、複数の人がグループになって担当することも可能です。)

まず、MDG5を象徴する人(またはグループ)は円の真ん中に立ちましょう。そこから毛糸玉を輪の中の誰か一人に向けて転がします。毛糸玉を受け取った人は、自分が担当するMDGに関連した問題で妊産婦の死亡の一因となっていることを一つあげ、真ん中に立っている人にその毛糸玉を戻します。一毛糸玉を一度手にした人は、その糸を握り続けることを忘れないでください。次に真ん中に立っている人は輪の中にいる他の人に向けて毛糸玉をパスしましょう。アイデアが尽きるまでパスし続けます。そうすると、妊産婦の死亡が他のMDGにもつながっていることが分かる毛糸の編み物が完成します。それぞれのMDGは、妊産婦の健康と改善のために何ができるか、しばらく考えましょう。解決方法が出るたびに、リーダーが真ん中にいる人と輪になっている人の、間をつないでいる糸を切っていきます。



他のMDGsを達成することが妊産婦の健康を改善するためにどのように役立つのか、あなたが学んだことをふりかえってみましょう。そして、友達や家族にあなたが学んだことを伝えましょう。



## 世界の妊産婦の健康を比較しよう



ガールガイド・ガールスカウトは世界中に145カ国の加盟連盟があります。毎年ガールガイド・ガールスカウト世界連盟はワールドシンキングデイに、5つの地域から1カ国ずつ焦点国を決め、特集します。今年の焦点国の特集記事を読んでください。そして、インターネットを使ったり、図書館で調べたり、地方自治体の代表者に連絡をしたりして、自分の国がどのように統計をとっているか確認してみましょう。なぜ一部の国では他の国に比べて亡くなっていく子どもが多いのか調査してみましょう。妊産婦の死亡率を下げるために国がどのような政策をとっているか調べましょう。焦点国におけるワールドシンキングデイのプロジェクトを支援するために、関心を高めたり、募金活動を行うことで、このアクティビティをさらに発展させましょう。



いくつかの国では他の国と比べてなぜ妊娠に関係して多くの女性が死亡するのか、学んだことをふりかえりましょう。



この活動を通して変化をもたらしましょう。あなたの地域でMDG5や今年の焦点国について発表しましょう。5つの国の食べ物を用意したり、ポスターや地図を作り、家族や他の人に世界のMDG5に関する現状を伝えるための「MDGの夕べ」を開催しましょう。少額でよいので参加費を集め、ワールドシンキングデイファンドに寄付しましょう。



## パックスロッジアクティビティ： 世界中のお母さんを称えよう

「母の日」など、世界中のお母さんはそれぞれの国で異なる日や異なる方法でたたえられています。パックスロッジがあるイギリスでは「マザーリング・サンデー」にお祝いします。「マザーリング・サンデー」の日は1600年代ごろに始まりました。若い女性がお母さんのためにケーキやお菓子を持って実家に戻るのです。今では子どもたちがお母さんにプレゼントやカードを渡し、その日を一緒に過ごします。



お母さんをお祝いする特別な日を待つ必要はありません! 私たちの生活において女性や母親が担っている重要な役割を称える「母の日のお祝い」を開催しましょう。女性の人生を称え、妊産婦の健康について認知度をあげたり、ワールドシンキングデイファンドのための募金を集めたりすることができます。招待状やポスター、他の掲示物にMDG5のポイントを書いたり、この活動パックの中のアクティビティを実施し、どうしたら多くの女性たちが長生きで健康な人生を送れるのか参加者に理解してもらえるようにしましょう。妊産婦の健康を促進する行動を起こせる地域にいる政治家など意思決定者の方も招待しましょう。



なぜお母さんや子どもの面倒を見る女性に感謝したり、お祝いしたりすることが大事なのか、共有しましょう。



## バスに乗ろう

あなたがバス停にいと想像してください。リーダーがMDG5に関する質問をします。質問の答えだと思いを全員で一斉に言いましょう。他の人が言っていることもよく聞きます。同じ答えを言った人同士は、すぐに集まって肩を組みます。肩を組みながら答えと一緒に言い、バスに乗るまねをします。リーダーに答えを教えてもらい、次の質問にうつります。リーダーは次の質問にうつるとき、「さあ、次のバスに乗りましょう」と声をかけゲームを続けます。



ページ後ろのアクティビティ資料を見ましょう。



## ジェスチャーゲーム! なぜ母親が必要なのか

みんなで小さい紙になぜ私たちがお母さんを必要とするか理由を書きます。すべての紙を集めて、混ぜます。理由が書かれた紙を一人1枚ずつ取り、声に出さずジェスチャーだけで、紙に書いてある理由を伝えます。他の人に何を伝えているのか当ててもらいましょう。



紙に書いた「お母さんが必要な理由」が世界の子どもたちに必要かどうか、グループで考えてみましょう。もしも子どもが母親から面倒を見てもらえなかったらどうなりますか? 母親のいない子どもを支援するために、地域社会は何ができますか?



## 医療サービスは命を救う



### 医療従事者は どのように 人を助けるのか

お医者さんや看護師さんのような医療従事者はみんなが健康でいられるように助けてくれます。医療従事者の人があなたやあなたの家族、知人を助けてくれたときの方法(経験)を思い出してみましょう。例えば、病気を予防するために予防接種をしたり、具合が悪かったり怪我をしたときには、良くなるように治療してくれたでしょう。医療従事者の人がどのように助けてくれるのか演じる寸劇を作って、出演するキャラクターになりきってみましょう。



医療従事者の人が私たちの健康を保つために果たしてくれる大切な役割を考えてみましょう。



### 映画鑑賞の夜

ドキュメンタリーなどの映像は世界中の少女や若い女性の生活について学べる素晴らしい方法です。グループで観賞できる、妊産婦のための医療サービスに焦点を当てた映画を探しましょう。または、あなた自身が劇を作ってもかまいません。たくさんの人を誘うことによってこの活動を、変化をもたらすものにしてみませんか。ちょっとしたおやつを販売したり、寄付を集めたりすることによって、ワールドシンキングデイファンドのためのお金を集めることができます。



映像の感想を共有しましょう。あなたの地域と世界を比べた時、妊娠女性にとって同じところ、違うところはどこでしょうか？



### 妊産婦の健康 追跡ハイク

健康情報や医療サービスは妊産婦の健康を改善するために大切な援助です。しかし、もしもどうやって健康情報や医療サービスを受けることができるか分からなかったら、それらの援助を得ることは難しいですね。あなたの地域にはどのような医療サービスがあるかを調査する「妊産婦の健康追跡ハイク」をやってみましょう。調査リストを完成させ、地域の人々と調査情報を共有するポスターや簡単なホームページを宣伝用に作成しましょう。活動の手引きについてはページ後ろのアクティビティ資料を見てみましょう。



あなたの地域で利用可能なサービスや情報を調べて何か気づいたことはありましたか？一部の人が他の人に比べて情報やサービスを得ることが難しいかどうかを考えましょう。



### 声に出して、参加しよう

地域の人々の権利を理解・保護し、地域の人々が健康を維持する方法を学ぶよう支援している慈善団体やNGO・NPOはたくさんあります。これらの問題に取り組んでいる地域のNGO・NPOの方と連絡をとり、取り組みについてもっと学ぶために訪問したり、お話をしに来て頂きましょう。もしその団体の取り組みに刺激を受けたら、ボランティアとして参加させていただけないか尋ねてみましょう。ピア・エデュケーターのグループに参加し、キャンペーンに関わりましょう。健康センターやユースセンター、学校の委員会に参加しましょう。あなたの住む地域や国で行われる会議に参加しましょう。もしもこのような機会が見つからなければ、自分自身で行ってみましょう。健康や権利に関心のある若者のチームを作り、一番よい関わり方を計画してみましょう。



## 力をつけた女性、健康な女性



### サンガムアクティビティ： 職業における女性

性別についての固定概念はとても強力です。この固定概念はどのような仕事なら「女性が出来る」または「男性が出来る」と人々が考えることに影響を及ぼします。あらゆる職業で働く人々の写真を印刷しましょう。（医者、弁護士、看護師、教師、建設業者、整備士、美容師、レストラン経営者、科学者等）部屋の左右の場所に女性♀と男性♂のマークを置きます。職業の分かる写真を一人一枚ずつ配り、全員にその写真を見せてから、その職業に合う性別の方へ写真を持って移動するように伝えます。もしも男女どちらにも適応する職業だと思えば、部屋の真ん中に立つよう指示します。最後に、なぜその性別（または真ん中）を選んだのか聞いてみましょう。



特定の職業がなぜ男性か女性に適しているように見えるのか、話し合ってみましょう。性別に対する固定概念が興味ある職業に進もうとする人をどのように阻んでいるのか話し合ってみましょう。性別に対する固定概念を克服して職についた経験のある人に話を聞いてみましょう。



### 1分間スピーチ

妊産婦の健康を改善するためのアドボカシーメッセージを作り、発信する練習をしましょう。あなたには1分間だけメッセージを発信できる時間があります！用意ができれば、グループに向けてメッセージを発信しましょう。メッセージができれば、あなたのメッセージを一言で表すスローガンを考えましょう。



### サンガムアクティビティ： 女性のリーダーシップ

一人ひとり、感銘を受けた女性リーダーを思い出し、その人の絵を描いてみましょう。なぜ絵に描いた女性がみんなに希望をもたらすのか、その女性の人格などについて発表し合ひましょう。政府、社会または地域の運動、科学などの幅広い範囲の女性リーダーたちの写真や物語、映像をみんなで見て、話し合いに役立てましょう。



これらの偉大な女性リーダーが何をもち、私たちが人生において、女性リーダーたちから学んだことをどのように活かすことができるか話し合ってみましょう。



### 女の子が望む世界をつくる

初めての国際ガールズデーが2012年10月11日に行われました。これは世界中の人々が女の子を称え、女の子の生活を改善するために行動を起こす日です。グループで輪になって立ちましょう。粘土を持っていると想像します。メンバーは一人ずつ、世界の女の子のために女の子にとってより良い世界を作る何かを象徴したプレゼントを粘土でかたどって、円の真ん中に置くふりをします。女の子へのプレゼントは何でしたか？それぞれが発表し、それらが女の子の権利にどのように関わっていくか話し合ひましょう。このアクティビティを2013年10月11日の国際ガールズデーでやってみませんか。





## 「今日」の目標と 「明日」の目標



何があなたにとって重要か理解していることは、あなたが決定をしたり、周囲からの圧力に立ち向かったりするときに役立ちます。あなたの目標を示す絵を描いたコラージュを作りましょう。紙の片側にあなたの今の目標を描きます。（例えば良い成績をとる、新しい技術を学ぶなど）もう一方には将来の目標を描きます。（例えば、自分が就きたい職業や結婚してどんな家族で築きたいかなど）できあがったら、みんなで作品を見せ合いましょ。



若い人に、人間関係において健全な決断をさせるのに、自分の目標を知ることが、どう役立つか話し合いましょ。



## アクティブに・・・ なろう！



体を動かすアクティビティをする方法はたくさんあります。グループで輪になって立ちます。一人のメンバーが身体を動かす方法を提案します。例えば「泳ぎに行こう！」と言って泳ぐ真似をします。するとみんなで「うん、泳ぎに行こう！」と返事をし、その動きを真似します。あなたのグループのみんながアイディアを出し終えるまで、それぞれの人が身体の違う部分を動かすアクティビティを続けましょ！



身体を動かすことで何を学んだかふりかえりましょ。スポーツや他の体を動かすアクティビティに少女や女性が参加するのを妨げるものはありますか？国によっては少女や若い女性が自由にスポーツをしたりできないところがあるかもしれません。その現状や理由を調べてみましょ。



## 私の人生に関わる たくさんの人



あなたはたくさんの人と関係しながら生きています。両親/保護者、兄弟/姉妹、いとこ、友だち、先生、ご近所さん、他にも！大きな紙の真ん中に円を描きます。この円はあなたを表します。あなたの人生に関わるすべての人を思い出し、描いていきます。あなたにとって特別な人は、円の一番真ん中に描きます。それぞれの人があなたにとって特別な理由は何でしょう？



人間関係はそれぞれです。中でも何が特別な関係とさせるのかを考えてみましょ。



## 言葉に出そう



良い人間関係やあなたの心身を気遣う方法について、たくさんのことを学んだことでしょう。さあ、今度は学んだことを学校や地域で他の人々のために役立てる番です！ポスターにしたりアルバムを作ったり、歌を作ったり、短いビデオを作るなど、いろいろな方法があることでしょう。



## 付 録

### 繊細なテーマを取り扱うためのヒント

#### 両親や保護者に理解してもらうこと

保護者はガールスカウト運動を展開するうえで大切なパートナーです。保護者にもMDG5に関係のあるテーマを含んだ健康について子どもたちが学ぶにあたり、大切な役割があります。これらのテーマについてのノンフォーマル学習の取り組みは、学校などの他の情報源と両親や保護者から得る情報などを足し合わせていくことが大切だからです。

スカウトと一緒にを行う予定の2013年のワールドシンキングデイ・テーマやアクティビティについて保護者にも伝えましょう。必要があれば、スカウトがアクティビティを行うことに許可を得ましょう。保護者がこれらのテーマについて、子どもと一緒に話すのに利用できる資料などを提供しましょう。リーダー自身も保護者や子どもたちから質問を受けそうなことについては、事前に準備をしておきましょう。

#### 繊細で難しいテーマに対応するための作戦

MDG5は死、ジェンダー、不平等、妊娠と出産、人間関係、相違点、価値について話をするため、とても繊細で、感情的または難しい可能性のあるテーマです。人によってはそれらのテーマについて強い意見をもっているかもしれません。ある人は乳幼児または妊産婦の死によって個人的に影響を受けるかもしれません。

これらのトピックについて話すときには、思い込みを見直し、踏み込んではいけなく、またはプライベートであるとみなされているテーマを、公共の場で取り上げることに配慮し、信条や価値観に関係している内容であることを忘れないようにしましょう。

以下はこれらのテーマに取り組みやすくするものです：

#### リーダーとして自分の役割を知る

スカウトと一緒に情報を共有し、問題について学び、話す機会を提供しましょう。どうすればいいかなど会員に医療的アドバイスやカウンセリングをすることは絶対にしないでください。保護者、保健機関などの彼らの健康について対処し、決断をするための支援や詳しい情報を与えてくれる機関や人を紹介しましょう。アクティビティを始める前にそれらの機関の詳細について確認しましょう。

#### 問題に精通しましょう

偏りのない根拠のある情報を提供するように留意しましょう。法律、民族、権利といったさまざまな視点から問題を探れるようにしましょう。信憑性のある機関から資料や学習ツールを借りましょう。市民社会団体また大学などあなたの地域にあるこれらのテーマの専門家やすでに活動している人と連携しましょう。そういった人を招いて指導してもらったり、一緒にアクティビティを行うことも考えましょう。

#### MDG5に関係のあるテーマについて自分自身の視点、信条、価値、試みを探り、疑問を持ってみましょう。

アクティビティパックの情報について、あなたが気になった点についてチェックしておきましょう。これらのテーマについて少女や若い女性のように、思い違いをしていたことがあるかもしれません。

#### 気楽な気持ちで余裕を持って会員スカウトに話しましょう。

これらのテーマについてなぜ公共の場で学び、話す必要があるのか共有しましょう。これらのテーマに疑問を持つことは普通のことだということを強調してください。これらのテーマについての話題に対して子どもや若い女性がどう感じているか常に留意しましょう。

#### 安全で実りのある会話のためにスカウトと一緒に基本ルールを設定しましょう

ルールを設定するには次の点を含むとよいでしょう：「能力を最大限に活かして参加する」、「一般論ではなく、自分の意見や考えを『持つ』『私たち』ではなく『私』を主語にして意見を述べる」、他



の人のプライバシーを尊重する、丁寧に他の人に接する（しっかり話を聴く、邪魔をしたり、悪口を言ったりしない）、正しいかどうかよりも問題を深く理解することに集中する。

**ブレインストーミングや小さいグループを作っての活動のように、だれでも参加できる話し合いを通じてMDG5に関係のあるテーマを学ぶことができ、自分の考えに対してじっくりとふりかえることのできるアクティビティを使用します。**

リーダー自身が行動を通し、難しい会話や興味がそそられる会話に参加する方法を示しましょう。これらのテーマについてへだたりなく話したり、さまざまな意見を尊重するよう手本を示しましょう。

**会員がこれらのテーマについて安全な環境で話し合ったり、活動できるようにすることが大切です。**

会員の個人的な体験や意見よりも、理論的でも具体的な方法でテーマについて調べましょう。心を開いた議論を行うために、参加のルールを決めましょう。参加したくない人は参加しなくてよい、意見を述べたくない人は述べなくてよい、そして無理に質問をしたりしないというルールを作ります。参加者には、自分自身について集団の中で話してよいことは何かを考えて、発言するように伝えましょう。（第3者に話されても問題ないことであれば安全だと伝えましょう。）

**少女会員がテーマに関する個人的経験がある場合は注意しましょう。**

家族や周囲で女性や子どもが亡くなっていることなどがある場合は、これらテーマを取り扱うことに注意しましょう。

**少女会員と一緒に活動を始める前に未解決の感情や開示をどのように取り扱うことができるか考える時間をとりましょう。**

あなたは何をしたいですか？何することを避けたいですか？適切な境界線を保ちながら、どのように少女や若い女性を支援していきますか？ネグレクトや性的、身体的、精神的虐待といった子どもに関する問題が分かったときには、専門家に必ず相談をしましょう。児童護条約をインターネットなどで探して参考にしましょう。

**医療サービスプログラムや資料のリストを作りましょう。**

希望があれば、少女会員が資料を利用できるようにしましょう。

**法律によって専門家に情報を伝えるよう要求されない限りは支援やアドバイスを求めますが、少女会員のプライバシーや秘密保持を尊重しましょう。**

指導者は子どもの福祉を促進し、子どもを危害から守る義務と共に機密情報を尊重する義務のバランスを取る必要があります。少女会員の安全のためにこの情報を共有しなければならないことや、なぜそうしなければならないのか、少女会員に知らせることが大切です。支援が必要ならば、都道府県連盟や日本連盟にも相談してみましょう。

**リーダー：教育はなぜ必要なのか？**

母親になるずっと前に健康の種は蒔かれます。身体的・精神的に良い健康状態であるとき、また自信、自尊心、人間関係や親であることについて健康的な選択をするのに必要な知識とスキルがあるとき、女性は高い確率で健康的な妊娠をすることができます。将来、母親になるなら関わらず、可能な限り健康的であることはすべての少女や女性に重要なことです。

WAGGGSは少女と若い女性のための世界最大の団体です。WAGGGSは加盟連盟に対して、十分に正確な情報と共と妊産婦の健康に関連した問題について公に話せる安全な場所を提供する責任があります。

すべてのリーダー（指導者）がこれらの問題について専門家ではないですし、これらについて話するのが困難なこともあることも認識しています。他のリーダーや地域の医療健康教育者など、団に招待し、一緒に活動してくれる人を見つけることも一つの方法です。



## 親密(性的・パートナー)な関係についての質問に答えること

子どもや若い人は健康や身体、思春期、親密な関係、性的な親密さについてたくさんの疑問を持っていることでしょう。情報やリーダーの答え方が彼らの理解や感情に大きく影響する可能性があります。これは質問に答えるとき覚えておいて欲しいことです：

- 質問が情報についてか、感情についてか、または価値観についてかを把握してみましょう。
- 年齢相応の答えを考えておきましょう。
- 性的課題を取り扱う際には使用する言葉に配慮しましょう。
- 決める時には自分たち自身で考えるようにすすめて下さい。
- 少女会員からの質問の答えがわからない場合は考えてみると少女会員に伝えましょう。質問のメモを取り、後から支援できるようにしてください。
- 必要な基本ルールを設定し、少女会員が忘れないようにしましょう。
- 教えられる瞬間に先入観、固定概念、不寛容な感情は持たせないようにしましょう。
- 地域の資料を少女会員にすすめましょう。
- 地域の指導者といった少女会員にとって重要な人や、家族、他の人の見解も求めるように促しましょう。これは価値観を考える質問として特に大事です。
- 静かに、集中しましょう。
- 目的を忘れず、自分の考えを述べるのは避けましょう。
- もしもテーマについていい気分がしなかったり、十分な専門知識がないと感じたら、集会を手伝ってくれる人を探しましょう。
- 人間が成長したり、自分自身を表現する方法はたくさんあることを忘れないで下さい





## アクティビティ資料

### Get on the bus (P20のアクティビティ)

|                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 毎日何人の妊産婦が亡くなっているか                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>約800人。<br/>亡くなった全女性に対し、少なくとも20人は出産や仕事での身体障害、感染症や傷を負って苦しんでいる。<sup>12</sup></li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2. 世界で最も多く妊産婦が亡くなっている地域はどこか。また、どのような国で亡くなっているか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>おおよそすべて(99%)の妊産婦の死亡は途上国で起こっている。<sup>5</sup></li> <li>ほとんどの妊産婦の死亡はサハラ以南のアフリカ(56%、3人に2人)と、南アジア(29%、3人に1人)で起こっている。<sup>5</sup> 妊産婦の死亡の主な原因が麻酔や帝王切開による合併症である先進国とは異なり、これらの地域では大量出血や極度の高血圧が主な原因となっている。<sup>12</sup> このことは産科を利用できるかどうかという世界的な格差を表している。</li> </ul>                                                                                         |
| 3. 青年前期の少女の死因で主要な原因は何か?                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 4. 青年前期の少女の妊娠が最も多いのは世界のどの地域か?                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>サハラ以南アフリカは青年前期の出産率が最も高い</li> <li>南アジアは青年前期に出産する人数が最も多い<sup>12</sup></li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5. 青年前期の少女が妊娠する主な原因は何か?                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠する原因は複数ある。以下は原因となっていること。</li> <li>貧困家庭</li> <li>早婚</li> <li>男女不平等、少女の地位が低い</li> <li>(早婚の場合でも) 性行為を行うかどうか、家族計画について</li> <li>少女たちが決定権を持っていない</li> <li>家族計画に関する情報不足</li> <li>WHOは子どもを産む間隔について最低2年はおくよう推奨している。3年間あければ母体にも、胎児にも、すでに生まれている子どもにとっても最良である。</li> <li>子どもを産む間隔をあけることは母親の命を救う。出産後5ヶ月以内に妊娠した母親は18~24ヶ月間隔を空けた母親に比べて死亡する確率が2.5倍も高い。</li> </ul> |
| 6. 妊産婦の死亡を防げる確率は?                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼすべての妊産婦の死亡を防ぐことはできる<sup>12</sup></li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |



## 妊産婦の健康追跡ハイク (P21のアクティビティ)

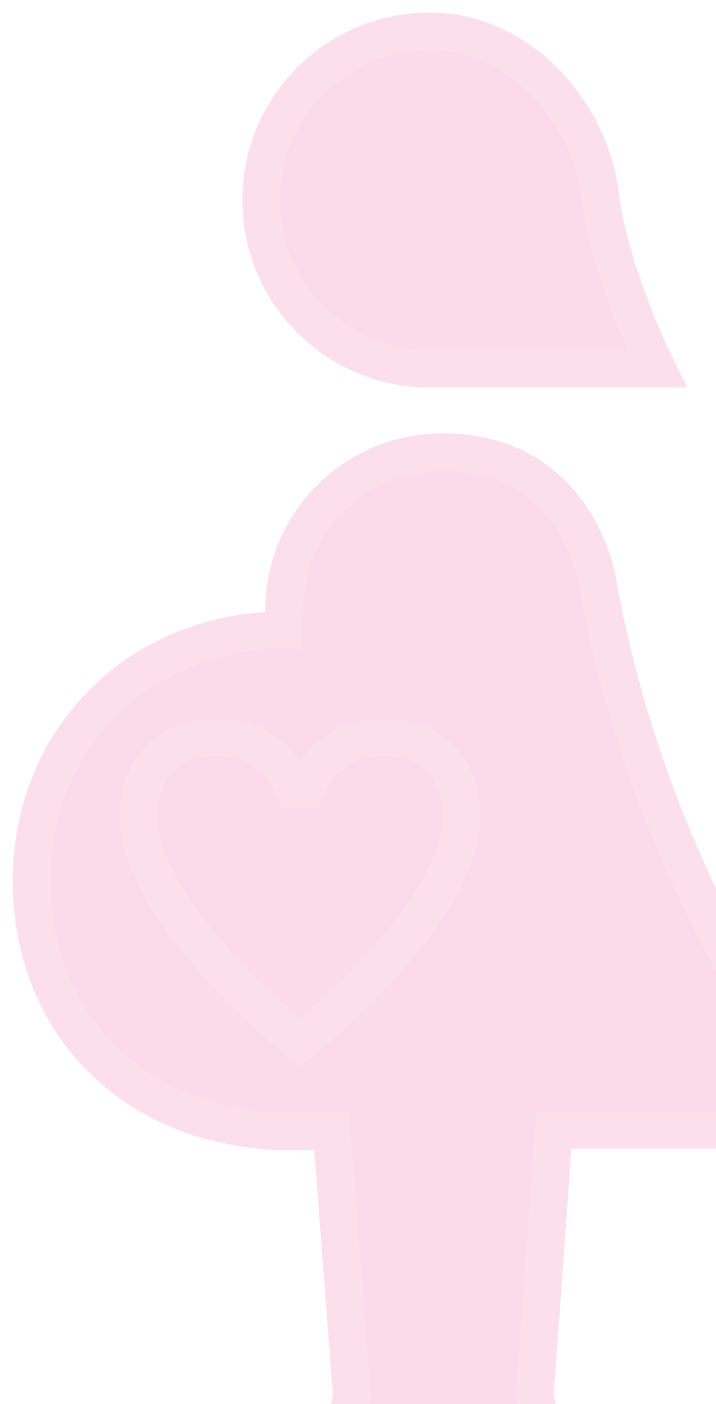
3つの欄を含む表を作り、次のものを貼ります。(1)質問、(2)医療サービス名、(3)場所 必要だと思う欄があれば、足しましょう。表の最初の欄に次の質問をすべてまたはいくつか加えているか確認しましょう。

- 栄養や子どもの世話、予防接種、人間関係、健康についての質問に相談にのってくれたり、情報をくれるところはどこですか？
- HIVの検査を受けるような医療サービスを受けられる場所はどこですか？
- HIV患者の人が支援や前向きに生活する手伝いをしてくれるところはどこですか？
- 女性が安全な妊娠や出産をするのに役立つ情報や支援を受けられるところはどこですか？
- 妊娠した女性がHIVの検査を受けたり、子どもがHIVになる危険性を低くしたり医療サービスを受けられるところはどこですか？
- バランスのとれた食事や健康について相談にのってくれるところはどこですか？
- 心の健康に関する情報や支援を受けられるところはどこですか？例えば、ストレスや心の病気のための支援を受ける方法。



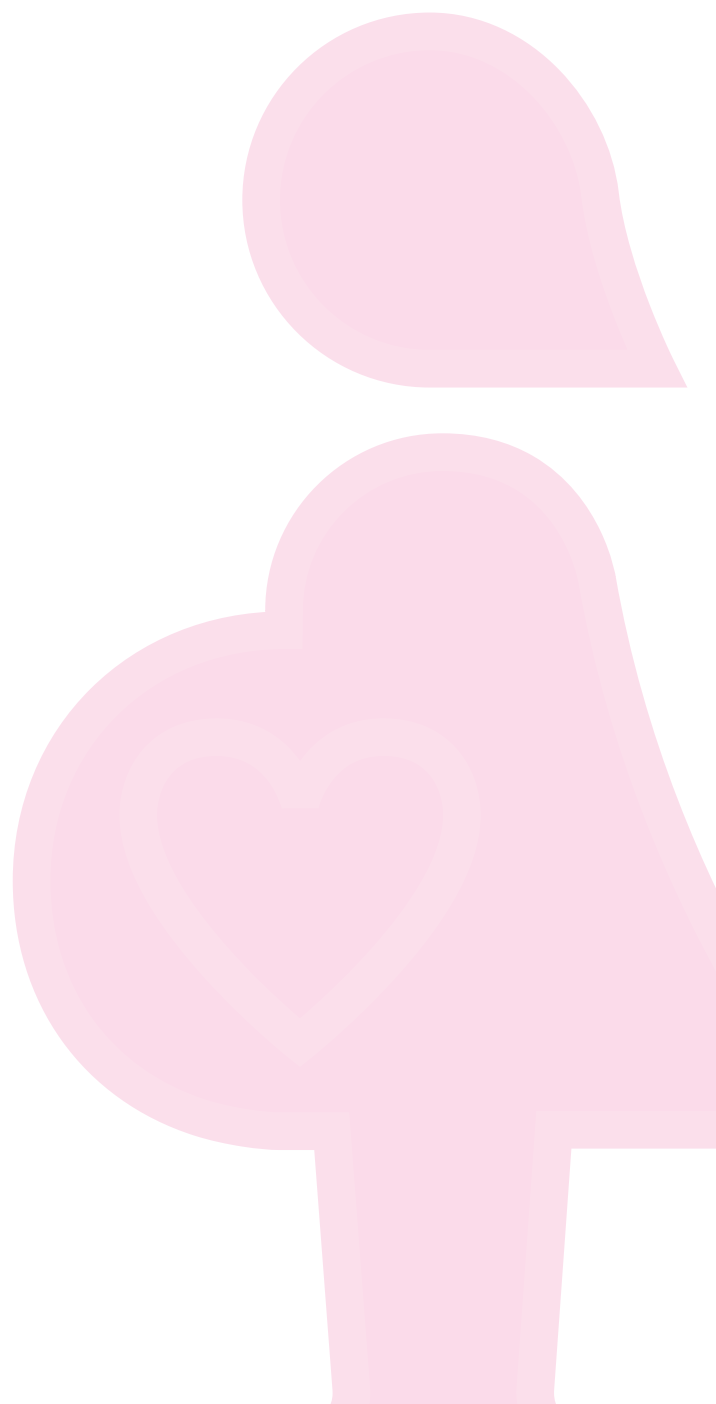
## 資料

1. WHO (2008). Closing the gap in a generation: Health equity through action on the social determinants of health.  
[www.who.int/social\\_determinants/thecommission/finalreport/en/index.html](http://www.who.int/social_determinants/thecommission/finalreport/en/index.html).
2. WHO and UNICEF (2012). Building a Future for Women and Children – The 2012 Report.  
[www.countdown2015mnch.org/reports-and-articles/2012-report](http://www.countdown2015mnch.org/reports-and-articles/2012-report).
3. WHO, UNICEF, UNFPA, and The World Bank (2012). Trends in Maternal Mortality: 1990 to 2010.  
[www.unfpa.org/public/home/mothers/MMEstimates2012](http://www.unfpa.org/public/home/mothers/MMEstimates2012).
4. World Health Organisation, Health Topics, Maternal Health,  
[www.who.int/topics/maternal\\_health/en/](http://www.who.int/topics/maternal_health/en/)
5. WHO, UNICEF, UNFPA, and The World Bank (2012). Trends in Maternal Mortality: 1990 to 2010.  
[www.unfpa.org/public/home/mothers/MMEstimates2012](http://www.unfpa.org/public/home/mothers/MMEstimates2012).
6. UN (2011). The Millennium Development Goals Report.  
[mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Data/2011%20Stat%20Annex.pdf](http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Data/2011%20Stat%20Annex.pdf).
7. Plan International (2007). Because I Am A Girl: The State of the World's Girls 2007.  
[plan-international.org/girls/resources/publications.php](http://plan-international.org/girls/resources/publications.php).
8. Save the Children UK (2012). State of the World's Mothers 2012.  
[www.savethechildren.org.uk/resources/online-library](http://www.savethechildren.org.uk/resources/online-library).
9. Amnesty International USA (2010). Deadly Delivery: The Maternal Health Crisis in the USA.  
[www.amnestyusa.org/sites/default/files/pdfs/deadlydelivery.pdf](http://www.amnestyusa.org/sites/default/files/pdfs/deadlydelivery.pdf).
10. Amnesty International USA (2011). Deadly Delivery: The Maternal Health Crisis in the USA – One Year Update Spring 2011.  
[www.amnestyusa.org/sites/default/files/deadlydeliveryoneyear.pdf](http://www.amnestyusa.org/sites/default/files/deadlydeliveryoneyear.pdf).
11. UNDP (2011). Human Development Reports.  
[hdr.undp.org/en/countries/](http://hdr.undp.org/en/countries/)
12. WHO and UNICEF (2012). Building a Future for Women and Children – The 2012 Report.  
[www.countdown2015mnch.org/reports-and-articles/2012-report](http://www.countdown2015mnch.org/reports-and-articles/2012-report).
13. Save the Children UK (2012). Charting the Future: Empowering Girls to Prevent Early Pregnancy.  
[www.savethechildren.org.uk/resources/online-library](http://www.savethechildren.org.uk/resources/online-library).
14. Save the Children UK (2012). Every Woman's Right: How Family Planning Saves Children's Lives.  
[www.savethechildren.org.uk/resources/online-library](http://www.savethechildren.org.uk/resources/online-library).











World Association  
of Girl Guides  
and Girl Scouts

Association mondiale  
des Guides et des  
Eclaireuses

Asociación  
Mundial de las  
Guías Scouts